



## これなあに？

### 『しちりん』

七厘、七輪と書きます。土製で持ち運びできる炊事用の炉で、燃料は木炭を用います。茶をせんじるときやこまごまとした料理をするときはとても便利で、小型で燃料費が7厘もあれば足りることからこの名がついたといわれています。

サンマなど魚を焼くときは煙が立ちこめるため、よく外に出して焼いたものですが、あたり一面に焼けたサンマのおいがたちこめると、もうすぐご飯だと分かったものでした。また、「しちりん」に火をおこすとき、うちわでパタパタとあおぐ光景が街のあちこちで見られたものでしたが、最近ではすっかり見られなくなりました。ノスタルジアを感じさせる道具の一つです。

# 夢中 熱中 青春ライフ！ クローズアップ

(47)

## 大館黒磯倶楽部

コブナ釣りから本格的な海釣りまで、趣味の王様といわれる釣り。男鹿半島、岩館海岸、青森西海岸などで、暖流によってやってくる黒ダイに挑戦する大館黒磯倶楽部の会長を務める船木聡さんにお話を伺いました。

私たちのクラブは発足してから十五年ぐらいいなりましたが、海釣りクラブとしての歴史は県内でも古い方で、会員は現在三十人ぐらいいいます。黒ダイ釣りの魅力にとりつかれた、二十代から六十代までの男性だけの集まりです。

黒ダイ釣りの魅力は、釣り上げるときの豪快さですね。それに、前日から天候の情報を仕入れたら、潮回りを判断して釣り場を選んだり、繊細さが要求される難しい釣りである反面、釣果が多いときの満足感は格別です。仕事の休みを利用して出かけるんですが、夜中に出発して夜明けと同時に釣り始めます。黒ダイは海が荒れた後によく釣れますし、岩場で釣りますからとても危険な釣りですが、それだけに「男のスポーツ」という気がします。

倶楽部では春と秋に黒ダイ釣り



男鹿半島での釣果を前に(右端が船木さん)

の大会を開催していて、これまでの記録では五十二センチの大物があります。大物は選んで釣れるものではないですが、さすがに五十センチ以上の大物を釣り上げたときの感動はなんとも表現しがたいです。こればかりは経験した人にしか分かりませんね。

## 大館の方言講座

### 「食」に関する言葉・3

- ◆センバ…まな板
- ◆ダマッコ…ご飯をすりつぶして口に入る大きさに丸め、きりたんぼなべと同じように煮たもの
- ◆ダンシ…まん丸でなく、上下を平らに作ったダンゴ
- ◆ヒネッポ…切り干し大根
- ◆ヘラ…しゃもじ
- ◆ホゲャル…仏様にお供えること
- ◆ホシナ・ホシバ・ホシバ…大根葉を干したものの、みそ汁の実
- ◆メマキ…昆布巻き

『大館市史』から

3月のテーマ関連図書コーナー  
『ゲーム』  
毎月第1金曜日 14時30分  
3月19日、21日、23日  
中央図書館の休館日

### 児童書

◇さよならの白い煙黒い煙(宮川ひろ) ◇けんちゃんトシせんせい(高木敏子) ◇コッコさんのおみせ(片山健) ◇バオバブの木と星の歌(レスリー・ピーク) ◇もしもぼくがいぬのがつこうにいたら(きたやまようこ) ◇ぼくはクロテン(富士元寿彦) ほか



### 一般書

◇命を削る鮑(串田孫一) ◇死者との誓い(ローレンス・ブロック) ◇日本一心のこもった恋文(二ツ井町) ◇皇帝の新しい心(ロジャーク) ◇ペンローズ) ◇きつぷの話(徳江茂) ◇ラプソディー・イン・アメリカ(江國滋) ほか

## 『わが青春の記』

金田一春彦 著 東京新聞出版局

中央図書館新着図書

## 私の本棚